

### 平成24年9月5日 中越メモリアル回廊視察研修会

平成24年11月5日(月) 参加人員 40名

#### 長岡震災アーカイブセンター きおくみらい館

中央区役所南出張所 駐車場出発  
長岡震災アーカイブセンター  
きおくみらい館

#### 【見学】

中越地震全体の被害状況を中越地域の航空写真ipadにより震災時から復興までの8年を学ぶ



きおくみらい館



きずな館

#### 川口きずな館

人とのきずなの記録



そなえ館

#### 小千谷市震災開発センタープラザ

小千谷市震災開発センターサンプラザ  
おじや震災ミュージアムそなえ館  
シアター・展示・地震動シミュレーター等  
風間久司(小千谷市自主防災会連絡協議会会長)講師の  
自主防災組織は地域の要(中越大地震から学ぶ)の講演



(成果)

#### 三箇所のメモリアル回廊見学をおえて

8年が経過して復興もまだまだの様子また発生直後から現在に至るまでの地元の方の決してめげない強い心やお互いに助け合う気丈な精神に敬服しました。

この回廊を見学するにあたって皆さんが改めて自然災害の恐ろしさを自ら学んだことではないでしょうか。講演会講師の「日頃より近所づきあいが大切である、人とのつながりを。」避難所対応などの体験話は身にせまる思いでした。

新潟地震を思い出した後々まで伝えることの重要性を感じた1日でした。

(課題)

災害はいつ何時起きるかわかりません。回り近所の安全のために対応できる物は早めに準備したい、そのためにも防災訓練のやり方など課題はまんばいでした。

自分の命は自分で守るを基本に自助の精神を伝えることが重要だと思います。

平成24年  
8月20日(月)

上所小学校

#### 地域安全マップ作り



マップ作り説明・班ごとの役割を決め、サア出発だ。全員、不安そうだががんばれよ? 暑いけど、何とかかなさ!



ここが危険な箇所かな? 写真班のお出ました。いやいや、暑い日だマイルドだよ。



インタビューおねがいします。危険な箇所はありませんか?



やっと涼しい所に帰ってきました。マップ作製に張り切ってるぞ。

#### 編集後記

より多くの人にこの広報誌を見てもらえるように、今回は写真を多く掲載しました。一生懸命活動している様子が一目でわかるかと思えます。

今年も大きな問題として原発や景気低迷、私たち地域の問題として旧中央卸売市場跡地の利活用問題等があります。いずれもすぐに解決困難な問題ですが、市場跡地については、市が直接開発等する場合は勿論のこと、仮に売却の場合でも買主におけるその利活用について、私たち地域の願いが叶うことを願っています。  
相川良平

発行者 宗村多四郎  
編集長 相川良平  
編集委員 石川 義成 真島 義郎  
高島 清

# かみところ

新年号  
第13号



新潟市食育・花育センター



## 新体制への期待



上所校区コミュニティ協議会

会長 宗村多四郎



“新年明けましておめでとうございます”  
会長の任期も規約によりあとわずかになりました。「立つ鳥、あとを濁さず」です。4年間を振り返り、反省と総括をしております。

21年5月の総会で会長に推挙されて、設立3年目のコミ協の運営を引き受けることになりました。

その目標に「協働化の推進」を掲げ、スタートいたしました。

その目標を推進するにあたり、まず、役員間の相互理解と信頼が第一であり、毎月定例的にミーティングを実施し、対話とコンセンサスを基本に、意思の疎通を図り、理解と協力を求めました。

そのため、互いに胸襟を開いて意見交換をする機会が必要で、年間を通じて、継続して実施いたしました。

就任3年目、23年度から運営組織の改編を行いました。3部門、4専門部会、4ブロック体制として、それぞれに役員を選任配置のうえ、役員間の連携と分担を明確にし、機能性と効率化を目指しました。

組織運営には「人・もの・金」の効率化が求められます。限られた会費を、専門部の活動、各団体の負担金、学校関係への助成等の予算執行には、節度と適正を心掛けました。

常に、市の自治協との連携、地域内諸団体との連携、小・中学校の連絡会への参画等に意欲的に取り組んでまいりました。

今年度の活動には、広報紙の発行、防災フェスタ、スポーツ振興のエコ・ウォーク共催実施、中越メモリアル回廊の視察研修、高齢者の見守り支援事業としての救急医療情報キットの配布・買い物支援協力店の開拓等、関係者の支援と協力により、いろいろと成果を挙げることができました。

なお、旧中央卸売市場跡地の利活用、背割排水路の整備促進、地域内関係諸団体との協働化の拡大などなど、まだ多くの課題があります。これからもコミ協は協働の要として、役割を担ってゆかねばなりません。

新年度の新しい体制で、これからも意欲的に取り組んでまいります。今後ともコミ協の運営に、ご支援・ご協力をお願いいたします。

### 平成24年度の事業実施状況

教育・スポーツ部会  
部会長 細川 聖

部会が発足し2年目となりました。上所校区コミュニティ協議会では、レッツ・エコウォーク事業を上所小学校区スポーツ振興会の共催事業とし、その他についても協賛させていただきました。

事業名	実施月日	会場	参加人数
やってみよう! とび箱・ボール投	7月1日(日)	上所小学校体育館	148人
みんなでラジオ体操	7月25日(水)	上所小学校グラウンド	497人
レッツ・エコウォーク -上所を歩こう-	9月30日(日)	上所小学校 ~やすらぎ堤	179人
マンガ教室	10月20日(土)	鳥屋野中学校図書室	38人
ミニ運動会	11月18日(日)	上所小学校体育館	158人
スポーツ教室	12月9日(日)	上所小学校体育館	87人



### 経済不況からの抜け出しを早期に期待

環境・まちづくり部会  
部会長 渡邊 春雄

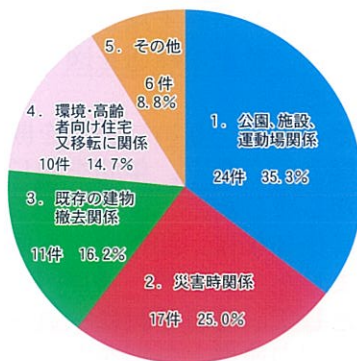
新潟市内ところ処に空き地、跡地など点在している。これらの管理を行政で行うのも大きな負担になっているのではないのでしょうか。

処分に当たっては新潟市全体の地域にわたるバランス及び、経済状況を考え、諸施設の計画に苦慮されていると考えます。しかし地元住民が気になるのは、旧中央卸売市場跡地は平成19年5月に新中央卸売市場へ移転して以来現在に至っている。このことは地元として大きく関心を持って今後の行きを注視しているところです。

23年8月には、当コミュニティ協議会として、旧中央卸売市場跡地の利活用の「要望書」を新潟市長宛に提出しました。これに対し市、地域・魅力創造部より説明を求められ、24年6月から鳥屋野地区コミ協及び校区コミ協の地域諸団体代表、又傘下自治会長各々から参加して頂いたアンケートを集計の上、市に提出致しました。その後隔月に3回、鳥屋野地区コミュニティ協議会連絡会と当コミュニティ協議会会長以下役員7名で市、地域・魅力創造部の担当者と意見要望を提案しながら意見交換会を実施しております。

新潟市では土地を売却、その条件の中には新潟市民約80万人を対象に活用でき、なお、災害時には、それ相当の避難場として可能な施設等へと考えていることでしょうか。また、これらの計画には大手民間企業が一括受けか、分散型になるものか、現在の不況情勢の中ではなかなか難しい点が多いと考えられる。しかし災害は何時やってくるか予想つかない、住民が安心・安全で暮らせるためにも事業を早期に進めてもらいたいものです。

旧中央卸売市場跡地の  
利用について  
アンケート意見・要望の集計概要



### 広げよう「救急医療情報キット」の輪を!

福祉・保健部会  
部会長 石川 義成

2ケ年のモデル地区指定となり取り組んだ「救急医療情報キット」の配布が自治・町内会長、民生児童委員のご協力により、無事完了しました。配布数は23年度232世帯、24年度236世帯であり、必要とした経費は2年で20万円程度でありました。

配布は順調に進んだが、大切な事は配布された方が「救急医療情報キット」を正しく使用しているかどうかである。①必要とする書類をキットに入れ、冷蔵庫に入れて置く事②シールを玄関の中の分かりやすい所と、冷蔵庫の扉に貼る事がポイントとなる。

自治・町内会長や民生児童委員は配布後も、配布された家を訪問し正しく準備されているかどうかの確認が必要と思われる。

2ケ年のモデル事業は終了したが、今後「救急医療情報キット」はどのように考えるべきであろうか?今後、急速に進むであろう日本の超高齢化社会、夫婦のみの高齢者、1人暮らしの高齢者、当然の事ながらいろいろな支援が必要となる。

次年度への展望を福祉・保健部会で話し合った。「高齢化社会に備えて、救急医療情報キット、買い物支援、要援護者に対する災害時等の援助は、3点セットとして、自治・町内会長、民生児童委員が中心になり考える必要がある」との結論に達しました。

「救急医療情報キット」に関して言えば、上越市全域が23年度に実施、新潟市でも秋葉区、東区、北区の1部、中央区(山潟地区、関屋地区、上所地区、女池地区等)で実施、年々広がりを見せている。「救急医療情報キット」は年齢制限を設けず、配布しようとの意見もあるが、誰が中心になって事を進めるのか(行政か、自治・町内会長か、民生児童委員か)、予算はどうするのか、早急の検討課題である。

今後全県的な広がりを見せ、1人でも多くの尊い命が救われる事を期待したい。2ケ年にわたる経験は貴重なものであり、ご協力下さった皆様に感謝致します。



玄関内側



冷蔵庫とびら

### 平成24年度事業実施状況

安心・安全部会  
部会長 浅野 昌禧

#### 平成24年9月2日 防災フェスタ開催

主催 上所校区コミュニティ協議会

- 8時30分 津波警報発令  
一時避難所:ユニゾンプラザ・北越高校・上所小学校・鳥屋野中学校へそれぞれ避難
- 10時 上所校区自主防災会発会式(新規発足自治会の紹介)  
・防災ビデオ上映(東日本大震災の教訓)  
・防災体験訓練 4グループにわかれ三種目を体験  
① 初期消火訓練 ② 応急担架搬送訓練  
③ けむり体験訓練 ④ 消防車の見学
- 11時40分 講評 消防署  
閉会のあいさつ

参加人数 466名 残暑厳しい中、何事も問題なく無事終了しました。参加者全員に感謝申し上げます。

